

衛星回線契約役務

平成28年 6月27日

警察庁情報通信局情報通信企画課通信運用室

事業概要

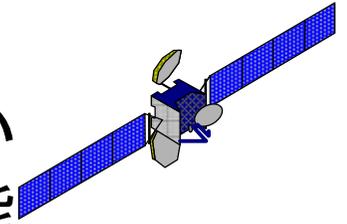
衛星回線契約役務とは



衛星通信の特徴

1 耐災害性

災害時には地上回線が不通となるケースが多い
衛星回線は災害時でもあらゆる場所で使用可能



2 即時性

車載局や可搬局を活用して迅速に回線確保できる

3 広域性・同報性

赤道上空に浮かぶ静止衛星 1 機で日本全土をカバー可能



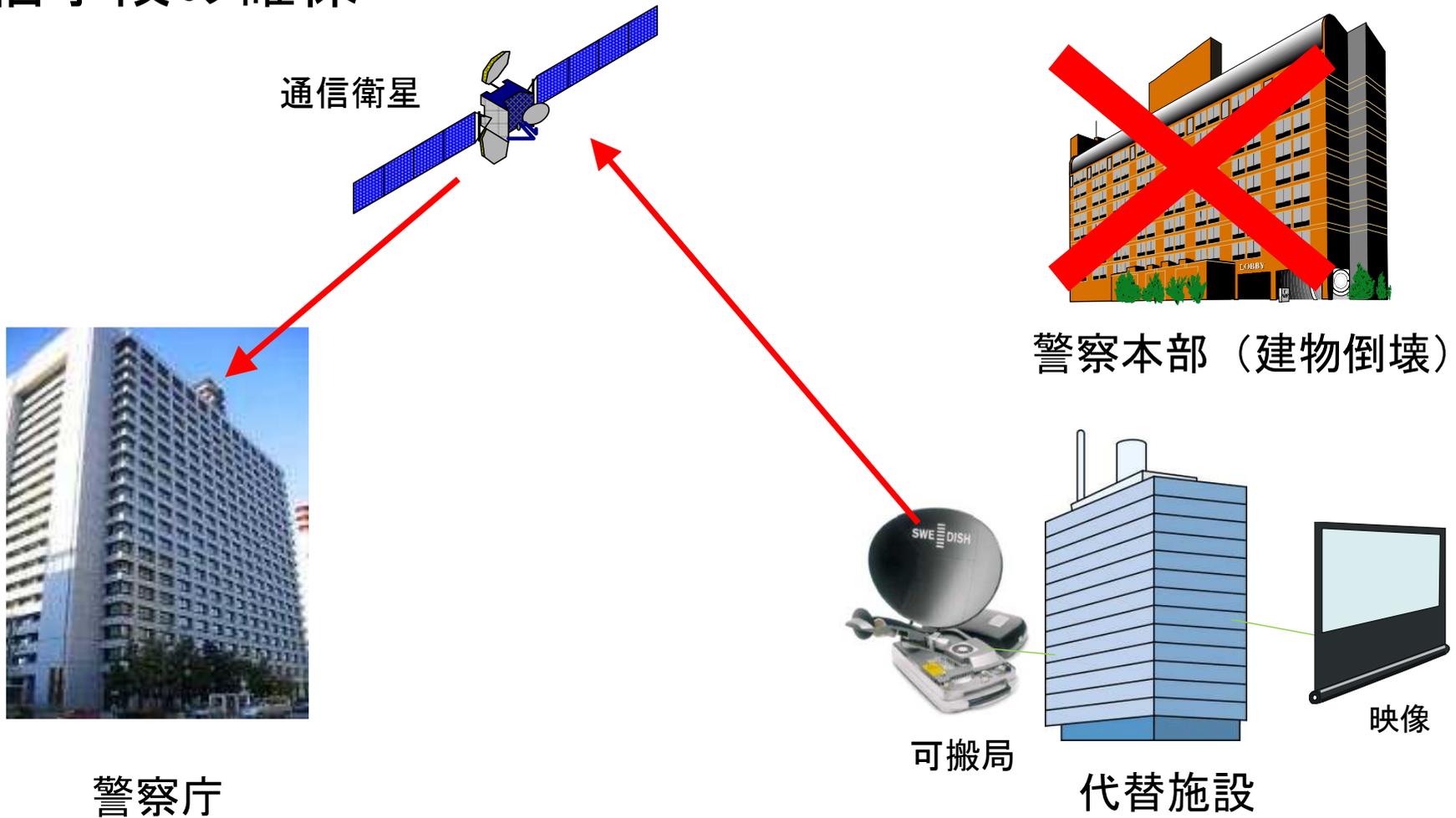
活用イメージ①

災害時における現場映像の伝送



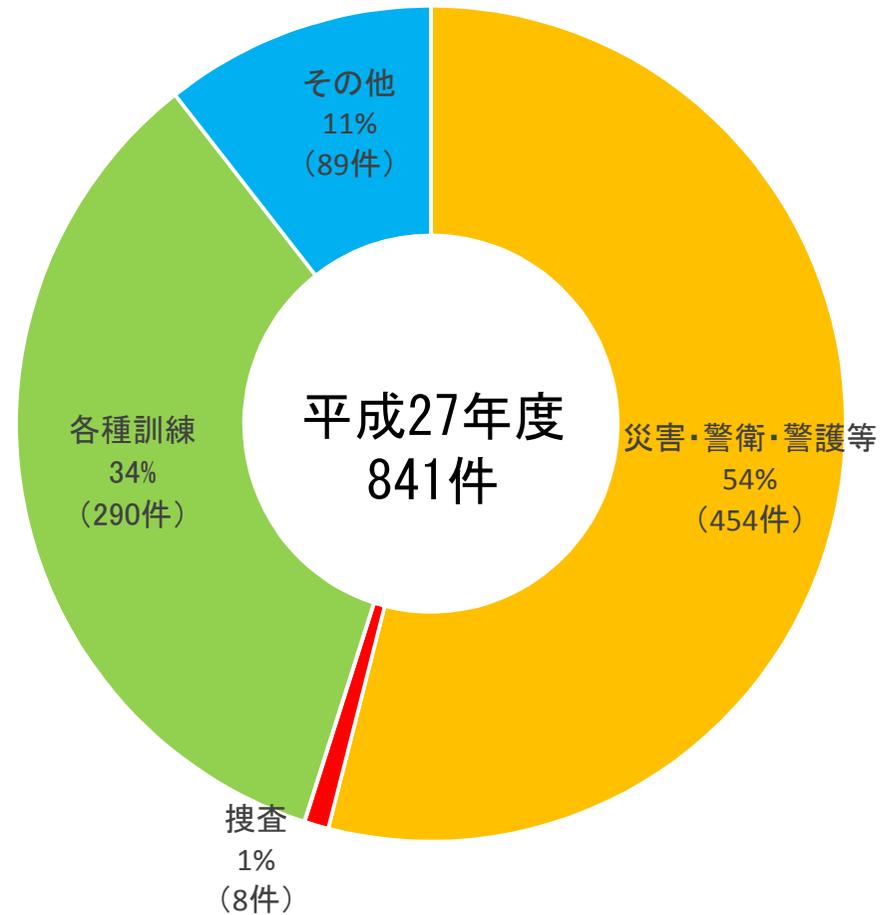
活用イメージ②

管区警察局・都道府県警察の代替施設における 通信手段の確保



使用実績①

目的別内訳



災害・警衛・警護等が全体の約5割を占める

現在の契約状況

契約事項：衛星通信回線の利用サービス

契約期間：平成27年4月1日～平成32年3月31日

請負会社：スカパーJ S A T株式会社

利用形態：終日専用

周波数帯：Ku帯（帯域幅は連続する36MHz）

運用回線：終日利用・カラー映像×4回線

・データ、音声・ファクシミリ、IP、CSC

随時利用・カラー映像×3回線

利用区域：日本全国

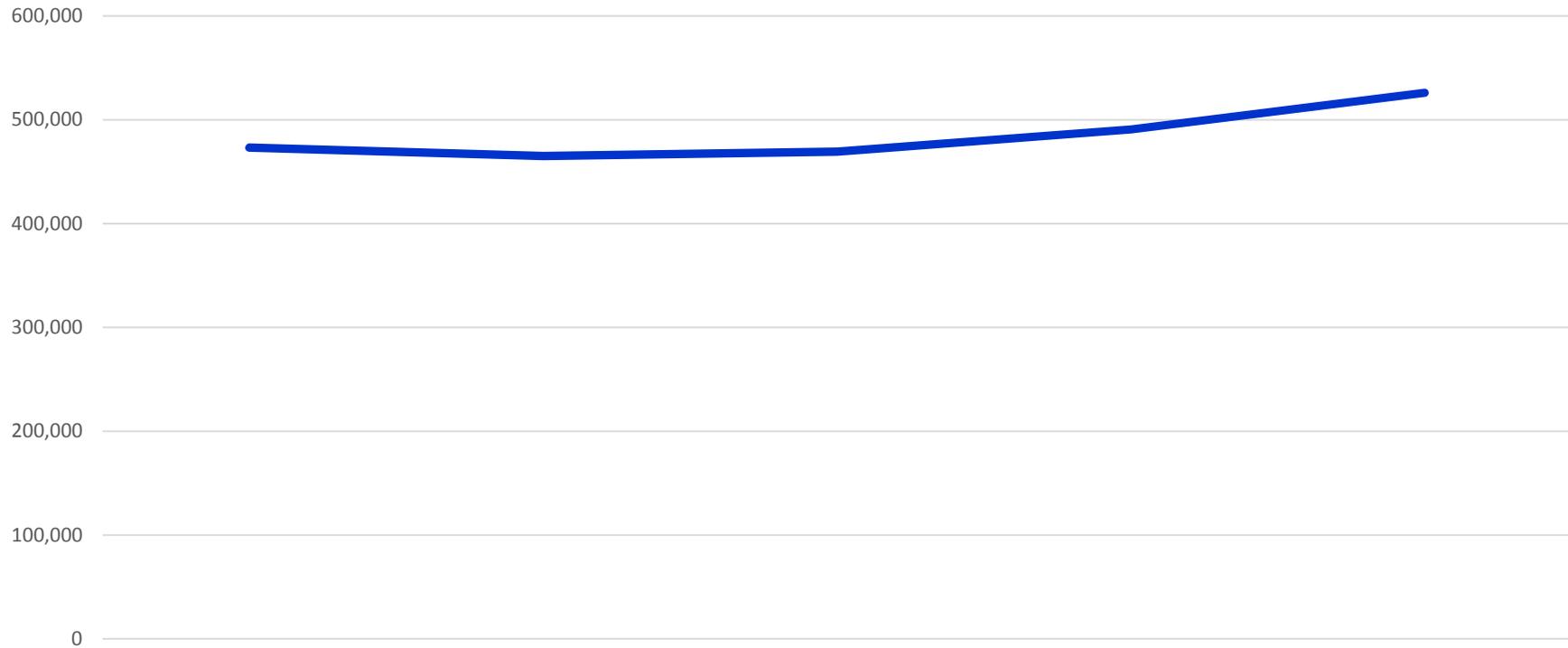
その他の条件

- ・終日専用帯域における映像伝送等の通信は警察庁の統制で運用できること。
- ・終日専用帯域以外に、カラー映像×3回線を警察庁が必要時に時間利用できること。
- ・衛星回線の移行に伴う費用は全て請負業者が負担すること。

予算額の推移

予算額の推移

(千円)

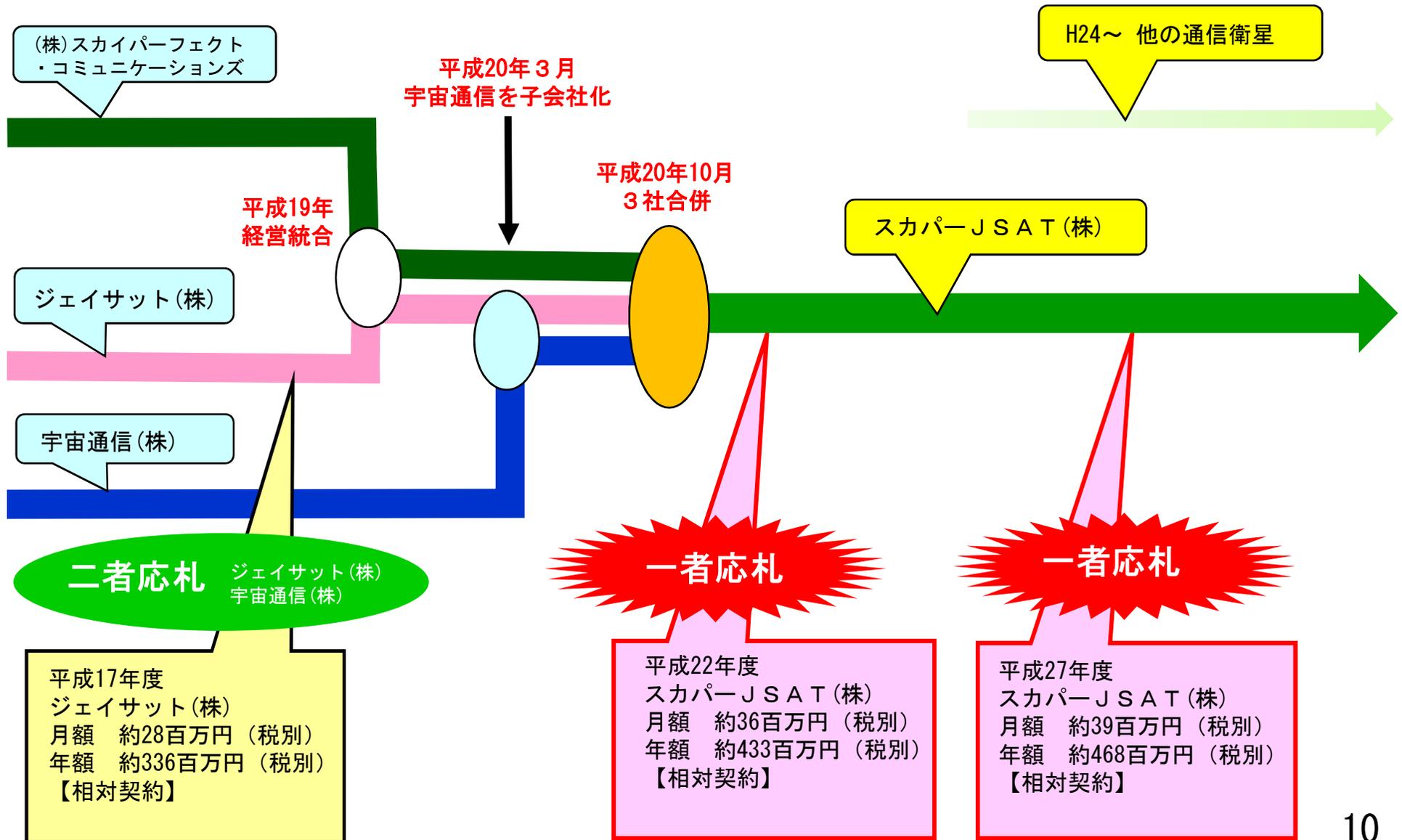


		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
執行額	終日専用料	454,999	454,999	454,999	467,999	505,440
	随時専用料	10,021	823	4,552	6,376	4,173
	電波利用料相当額	8,154	9,052	9,539	16,754	16,486
	合計	473,174	464,874	469,090	491,129	526,099
予算額		469,356	470,816	471,529	489,074	556,340

論点

- 1 競争性の導入の可能性
- 2 回線契約の見直しの可能性

通信衛星事業者の動向



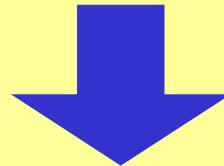
使用実績②

使用実績時間

◆過去5か年度の平均使用時間：約3,917時間

- 平成23年度 約3,797時間（終日：3,774時間、随時：23時間）
- 平成24年度 約3,857時間（終日：3,849時間、随時：8時間）
- 平成25年度 約3,862時間（終日：3,818時間、随時：44時間）
- 平成26年度 約4,006時間（終日：3,945時間、随時：61時間）
- 平成27年度 約4,061時間（終日：4,020時間、随時：41時間）

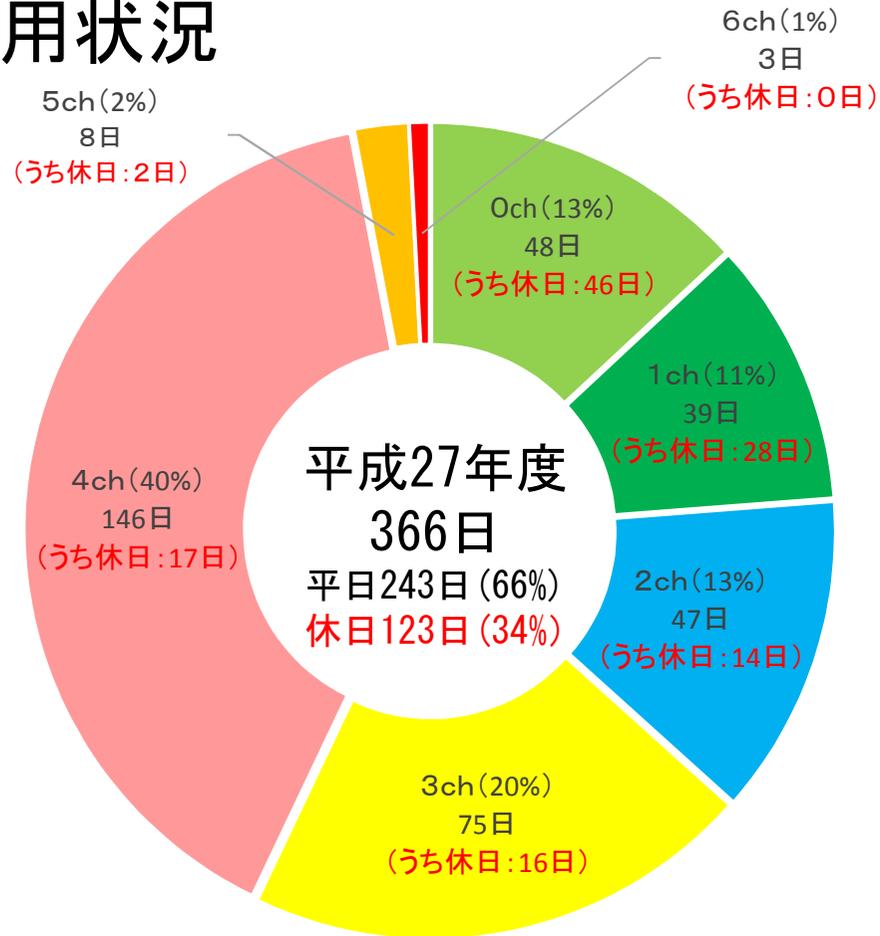
現在の警察活動において現場映像は不可欠



使用は年々増加傾向

使用実績③

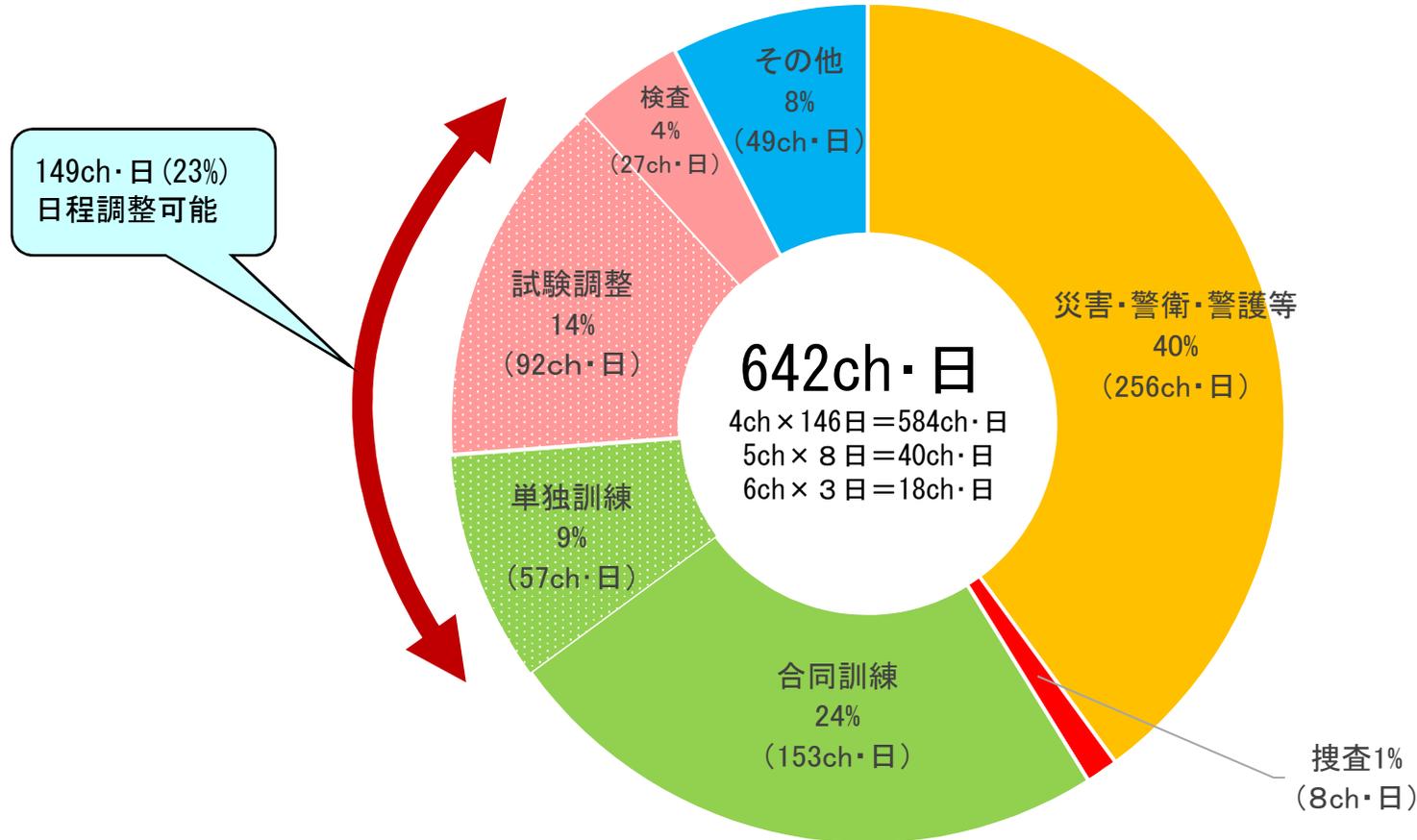
チャンネル使用状況



4チャンネルを使用する日が全体の約4割を占める

使用実績④

4チャンネル以上使用時の目的別内訳（平成27年度）



全体の約8割は日程調整不可能